科目名	専門演習Ⅱ　　Seminar II						
科目担当者	奥村 憲博　　OKUMURA Norihiro						
単位数	4	配当年次	3年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　演習］ 他学部他学科履修×					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	デジタル・トランスフォーメーション（デジタル変革）が産業・経済・社会に大変革をもたらしつつある。プラットフォームを中心にした新しいビジネスモデル、AI やロボットと人間の役割分担、電子通貨によるキャッシュレス社会、シェア経済等、枚挙にいとまがない。 上述の時代背景を受けて、人生 100 年時代におけるデジタル変革が産業・経済・社会にどのようなインパクトを及ぼすかを想像し、どのような未来社会を構築していくかを構想できる基盤を形成していく。						
授業の到達目標	①プラットフォームを中心にした新しいビジネスモデル、AI やロボットと人間の役割分担、電子通貨によるキャッシュレス社会、シェア経済等グローバル化や情報化の更なる進展に伴う DX(デジタル・トランスフォーメーション)等の社会へのインパクトを研究することにより、新たな時代変革に対応できる柔軟性を備え、現代の社会における課題を見つけ、解決・改善に向けて主体的に対応する力(課題発見力・問題設定力・対応力)を涵養する。 ②デジタル変革が産業・経済・社会にどのようなインパクトを及ぼすかを想像し、どのような未来社会を構築していくかを構想するための考える力及び判断力(専門力・読解力・思考力・判断力)を強化する。						

授業計画・内容

1	ガイダンス	16	志本経営の時代
2	デジタルは世界を急速に不可逆的に変えている	17	世界の志本経営企業
3	全社を挙げて基礎から作り変えよ	18	日本の志本経営企業
4	残された時間はわずか	19	世界と日本の共通点、相違点
5	やるべきことをデジタルで	20	サステナビリティの実践
6	ビジネスアーキテクチャを開発する	21	デジタル時代に求められる進化力
7	事業基盤を強化する	22	「グローバルズ」のフラクタル構造
8	全社にスピーディーに導入する	23	鍵を握る無形資産
9	デジタル企業を成長させる	24	MX　―経営のイノベーション―
10	全社を挙げたデジタル化	25	失われた 30 年の蹉跌
11	デジタルトランスフォーメーションへの準備は整っているか？	26	志が拓く未来
12	資本主義の終焉	27	卒論テーマ発表（ゼミ生 3～4）
13	資本主義を超えて	28	卒論テーマ発表（ゼミ生 3～4）
14	志本主義の系譜	29	卒論テーマ発表（ゼミ生 3～4）
15	日本流再考	30	卒論テーマ発表（ゼミ生 3～4）

授業外学修（事前学修）

毎回、輪読本を予習し、講義内での意見、質問等をノートにまとめておく（毎週 2 時間程度）。

授業外学修（事後学修）

毎回，輪読本を復習し、それに関連する事例を新聞，テレビやインターネット等における国内外報道を検索し、ノートに追記する（毎週 2 時間程度）。

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応

成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
ゼミでの質疑・発言での貢献等	80%	①、②
ゼミでのプレゼンテーション	20%	①、②

成績評価基準

秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合
優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合
良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合
可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合
不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合

教科書

・ユンゲル・メフェルト〔2018〕，デジタルの未来，　日本経済新聞出版社
・名和高司〔2021〕，パーパス経営，　東洋経済
※　上記教科書（輪読所）はゼミから貸与する。

参考文献

・鎌田雄一郎〔2019〕ゲーム理論入門の入門, 岩波新書
※　上記参考文献はゼミから貸与する。

その他